

農業も観光も潤うシステムづくり

Shoji Washizu
鷲頭将治 さん

九重町出身、36歳。飯田高原で牧場[eagle farm]を営む3代目。畜産業を軸に、稲作、ブルーベリー農園、農家レストランを展開している。

坐来で九重PRのフェアをしたい

Noriko Sekiya
関屋典子 さん

玖珠町出身、33歳。宝泉寺温泉おかみの会、ホテル龍泉閣おかみ。26歳でおかみとなり、2児を育てながら宝泉寺温泉を盛り上げている。

これからもコミュニケーションとりたい

Naoki Inoue
井上直樹 さん

九重町出身、30歳。九重町商工観光課主査。農林課、企画調整課広報担当を経て昨年より現職。九重の観光を盛り上げるために知恵を絞っている。

生活の中で自然を意識することが大切

Eidai Tanemura
種村英大 さん

神奈川出身、30歳。長者原デジタルセンター自然解説員。2007年から九重に在住。昨年、地域での環境教育活動が評価され県教育奨励賞を受賞した。

農業体験と温泉のバスツアーを

Kaori Umeke
梅木香織 さん

日田市出身、37歳。結婚を機に14年前から農業を始めた。ブルーベリー50種1200本を栽培する摘み取り農園「ベリージュファーム」を営む。

自然エネ先進地をアピールして

Takanori Senjyu
千手隆徳 さん

福岡県出身、38歳。九州電力八丁原発電所技術グループ副長。2003年から火力部地熱グループで地熱発電に携わる。電力政策の動向を注視。

「クリーンな町」で売り出せ

Masahiro Nagano
永野昌博 さん

福岡県出身、38歳。大分大学教育福祉科学部講師。専門は昆虫生態学。オグタサンショウウオの保全など大分らしい研究を模索中。

福岡に「九重ファンクラブ」設立

Shintaro Sato
佐藤進太郎 さん

九重町出身、35歳。有機栽培グループ「ひこばえ」メンバー。12年間のサラリーマン生活を経て、農業を継ぐため帰郷。新しい有機農業を目指す。

自然資源と活動をつなぎたい

Satomi Kawano
川野智美 さん

兵庫県出身、41歳。九重ふるさと自然学校リーダー。より直接的に自然を守り育てる活動がしたいと昨年から九重町で勤務している。

九重ファンにメルマガを配信

Kenji Takahashi
高橋 憲治 さん

九重町出身、38歳。野上格闘実行委員会。米国ビクター・ベンド・コミュニケーション・グループ卒業。九重町の人口減少とTPPの行方が気になる。

大量消費でなく特化した産地目指せ

Katsuyuki Mori
森 勝之 さん

大分市出身、44歳。2010年からJR九州ファーム大分代表取締役社長。栽培するニラ、甘夏、サツマイモの生育状況が気になるこのごろ。

イメージづくりのストーリーを

Tomoyuki Fujikawa
藤川朋文 さん

1992年大分合同新聞入社。経済部、政治部、佐伯支社、社会部、豊後大野支局を経て報道部課長。42歳。プライベートで温泉にゆっくり満ちたい。

「一緒にやろう」の輪を広げて

Satoshi Iwamoto
岩本聡 さん

1994年大分合同新聞入社。整理部、日特支局、文化科学部などを経て日田支社長。43歳。九重町の「日本一」もつとあるはず！探そう、育てよう！

九重町はエネルギーをもらえる場所

Makoto Naono
直野 誠 さん

1995年大分合同新聞入社。整理部、ストラテジックデザイン室、経理部を経て整理部課長。42歳。親子でくじゅう連山に登りたい。

観光と農業のつながりが大切

Takanobu Anai
穴井貴宣 さん

九重町出身、34歳。九重町農林課農政企画グループ主査。農林課、建設課を経て現職。趣味はパズルのピースを集めて組み立てを楽しむ。

お年寄りの知恵を受け継いでいきたい

Yuka Yoshimizu
吉光優佳 さん

九重町出身、27歳。立命館アジア太平洋大学卒業。九重町危機管理・町民安全課環境保全グループ主任。九重町大好き。夏の節電対策が気になる。

温泉地が互いの魅力を発信しては

Takeshi Roppongi
六本木武史 さん

福岡県出身、41歳。阪急交通社大分支店営業係長。国内外のツアーの企画・営業に携わり、2010年から大分勤務。ロンドン五輪が楽しみ。

次はブルーベリーサイダーだ

Yukiyo Jikumaru
軸丸幸義 さん

九重町出身、39歳。九重町商工会青年部部長。筋湯温泉で旅館ゆもとの荘を運営する傍ら、九重町の観光振興のために奔走している。

バラバラな九重を一つにする。

大分合同新聞社が、「地域や人々とのつながりを大切に、長期的なビジョンを共有しながら一緒に地域の未来をデザインしたい」との思いでスタートさせたプロジェクト・ミライデザイン会議「ハビカム」。第3弾の九重町編が6月30日、九重文化センターなどであった。町の東南にはくじゅう連山の名峰を擁し、清流玖珠川が流れる豊かな自然環境、人情豊かな温泉郷と多彩な表情を持つ九重町。将来を担う若手リーダーと同世代の大分合同新聞社員らが分科会と総括会議を通して白熱した議論を交わした。「農林畜産業（コーディネーター／藤川朋文）」「観光産業（コーディネーター／岩本聡）」「環境（コーディネーター／直野誠）」をテーマにした3分科会には、現場で活躍する若手リーダーが4人ずつ出席。外部アドバイザーやコーディネーターの記者と共に地域の未来について語り合った。分科会の内容をテーマごとに紹介する。総合アドバイザーは歌舞伎・劇作家の岩豪友樹子さん。総合コーディネーターは佐々木稔・大分合同新聞社編集局地域報道部長。

主催／大分合同新聞社 共催／九重町 九重町商工会 協賛／国立大学法人 大分大学 大分県銀行 大分NTTコム九州支社大分支店 日本たばこ産業熊本支店 東洋インキ九州株

総合アドバイザー  Yukiko Iwago 岩豪友樹子 さん 愛知県出身。日本演劇協会会員、歌舞伎・劇作家。大分市在住。代表作は国立劇場で上演された歌舞伎「江戸育園妖鈴爪（えどのやみあやしのかぎつめ）」。 総括会議の様子は7月20日（金）の朝刊をご覧ください。 ウェブ http://www.oita-press.co.jp	総合コーディネーター  Minoru Sasaki 佐々木稔 さん 1991年大分合同新聞入社。社会部、中津・東京両支社、戦略室などを経て地域報道部長。45歳。もつとんがつってまちづくりをしよう！ スマホ http://www.oita-press.co.jp/h-come/
--	---

大分銀行は、豊かな自然と潤いのある生活をサポートします。





権限活動（大分銀行の森づくり）



やまざくら杯グラウンド・ゴルフ大会



だいごんサッカー教室



大分銀行ドーム



府内戦紙



べつだいウォーク



電気自動車・電気スクーター



ユニバーサル・サービス体験実習



ウェンズディコンサート

地域をみつめ 未来をみつめ
大分銀行